

2019 年度事業報告

自 2019 年 7 月 1 日 至 2020 年 6 月 30 日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」

【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」

【事業総括】

2018 年度に、保育現場における『真宗保育カリキュラム』の普及・活用を目指してスタートした「カリキュラム研修会」「設置者・園長等研修会」を中心事業に、真宗保育の歩みの大切さを再確認する機会の創出が目指されたが、2019 年度後半の新型コロナウイルス対応によって、大幅な事業の見直しに迫られた。

ただし、コロナ禍ともいわれる社会状況にあっても、むしろ緊急事態の優先課題として、乳幼児教育・保育の重要性が認識されており、「新しい生活様式」「ソーシャルディスタンス」などキーワードでの新たに課せられた課題を意識しながら、以下の重点施策に取り組むこととなった。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた協会としての準備が停滞してしまっただが、“真宗同朋会運動における青少幼年教化を担当する役割”を果たすべく、引き続き関連事業の検討を進めていく。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

2018 年度より、カリキュラムは各種研修や、各園での使用例が増えている。もちろん、まだ課題は山積であるが次年度も継続していけるような組織作りが必要である。また、真宗保育研究会への参加など、外部の有識者とも交流する場所をもち、真宗保育、またカリキュラムの内容について意見交換をした。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

『真宗保育カリキュラム』は普及が目的ではない。真宗保育のより一層の深化にこそ、その目的はあることを再確認せねばならない。そのためには『真宗保育カリキュラム』の普及や学びを通じ、真宗保育について「語れる人」の誕生が課題である。2018 年度新規事業の「カリキュラム研修会」「設置者・園長等研修会」などをはじめとした諸研修がその基軸になるだろう。また、『真宗保育カリキュラム』の誕生・普及は他の保育・教育関係者との対話を可能とする共通項にもなろう。その意味で『真宗保育カリキュラム』の普及は、真宗保育が広く公開されていくことにもつながるのである。

『真宗保育カリキュラム』や真宗保育の普及・公開にはその保育経験の共有化が不可欠である。そのためにもカリキュラム使用の実践体験を研修・広報などを通じ保育・教育関係者に還元する場が重要性を増すことも指摘されるべきである。

(2) 研修テーマ「そだつ」サブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」の総括作業を受けた新テーマ「まなぶ」の発表

① 第18回全国真宗保育研修大会の開催

期 間：2019年7月6日（土）～7日（日）

会 場：（1日目）ホテル金沢（2日目）石川県立音楽堂

講 師：基調講演 木越 康氏（大谷大学学長）

記念講演 鈴木 みゆき氏（国立青少年教育振興機構 理事長）

西東 桂子氏（幼児教育ジャーナリスト/編集者）

分科会：北陸連区、協会研修部担当による5分科会の実施

② 次期研修テーマの検討に向けた取り組み

第18回全国真宗保育研修大会の開催にあわせて、新研修テーマ「まなぶ」を発表し、参加園間の共通認識を図った。前研修テーマ「そだつ」サブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」の総括作業を受け、2019年度の諸研修の内容につなげ、並行して『真宗保育カリキュラム』の活用について検討を進めた。

③ 第3期こどものうた普及に向けた取り組み

第3期こどものうた「ぼくたちこども」【作詞作曲：中川ひろたか氏、うた：陽香（はるか）氏】が日常的に歌い継がれるよう、加盟園、宗派内に止まらず幅広く周知を図った。

2023年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年に向けて、さらに親しみのある事業となるよう、第4期期以降の制作に向けて、協議検討を進めた。

(3) 保育心理士会による保育心理士の活動支援の充実

① 保育心理士養成校の拡充

2018年度より真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学において、保育心理士（二種）養成が開設され、今後、学術的表現を展開するべく土壌整備を行った。

また、真宗大谷派関係学校の枠を越えて、さまざまな大学において保育心理士の養成がなされるよう、引き続き、情報の提供と学校との関係構築を推進し、それに伴う事務作業の負担軽減への対応も検討した。

② 保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系の構築の動きに際して、真宗保育の理念を基として、積極的に当資格の人員育成を推進するために、京都をはじめとし同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索した。

【認定都道府県：福岡県、岐阜県、兵庫県、熊本県、鹿児島県、愛知県、京都府、宮崎県】

(4) 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた事業構築のためのプロジェクトの始動

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた準備が本格化している宗派の状況にあって、協会としても“真宗同朋会運動における青少年教化を担当する役割”を果たすべく、新たにプロジェクトを立ち上げて取り組みを検討した。

このたびの法要は、各園の年度替わりと重なる状況から、記念事業の持ち方を検討する他、プロジェクトの過程においては宗派諸機関（青少年センター）との連携をもって関連事業を構築するため、意見交換を行った。

(5) 協会組織の機構充実、人材発掘

(4) の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた取り組みにおいては、事業にかかわっていただく、さまざまな人材の参画について、協議検討した。

I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。真宗保育の理念、実践方法などについて研究を行った。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性を図った。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、保育、教育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1.1～3』の学術的表現への展開を図るため、協議を進めた。
- ③ 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参加し、研究会の運営と内容の探求に努めた。
期 日：2020年1月21日（火）
会 場：真宗大谷派宗務所
- ④ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図った。
- ⑤ 研修テーマである「まなぶ」について、仏教・真宗的視点からどのように内容を付与できるかを考察した。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチし、協会全体に何らかの形で公表できるようつとめた。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施し、その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。
・第12回保育心理研究会
期 日：2020年1月12日（日）
会 場：大谷大学（慶聞館）
講 師：高山 静子氏（東洋大学教授）
テ ー マ：『保育者と子ども・保護者との関わり～福祉と教育の専門職として～』
分 科 会：（1） ①複数の事例を通して見えてきたより良き支援と環境とは

②保護者支援—自分が言われて気づいたこと

(2) 子どもを愛せない継母

(3) 園での人間関係の改善に向けた取り組み

—保育者の評価欲求と管理者のダブルハンド—

(4) 言語保育士養成

② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝えた。

また、保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行った。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行った。

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	500	333
うでわ念珠 青 子ども用	150 円	124 円	4,000	1,889
うでわ念珠 青 大人用	150 円	134 円	3,000	1,742
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150 円	124 円	3,000	2,042
うでわ念珠 ピンク 大人用	150 円	134 円	2,000	1,653
白念珠	120 円	105 円		1,096
念珠袋	280 円	235 円	2,000	363
おつとめちょう	100 円	40 円		4,736
真宗保育者手帳	500 円	480 円		36
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円		432
八女ちょうちん	180 円	107 円	144	0
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6,000	716
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円		834
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	1,827 円		44
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円		651
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円		1175
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円		199
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円		15
こどものうた③ ぼくたちこども WEB版	200 円			
こどものうた③ ぼくたちこども (カラオケ) WEB版	200 円			

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
2. アイヌ民族文化と子育て	280 円	200 円		292
3. 本当に大切なこと (一楽真)	280 円	105 円		0
4. なぜ浄土なのだろうか (中川皓三郎)	240 円	115 円		142
5. いのちの教育のすすめ (田代俊孝)	240 円	145 円		661
6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間 (加藤守孝)	220 円	134 円		708

7. あそび（宮城顛）	220 円	127 円		674
8. 敬うとは何か（加藤祐伸）	240 円	138 円		1,082
9. 宗祖としての親鸞聖人に会う（池田勇諦）	110 円	50 円		840
10. 真宗と保育（一楽真）	280 円	105 円		606
11. いのちありがとう（真城義麿）	240 円	151 円		694
12. 誕生（三明智彰）	220 円	110 円		660
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250 円	160 円		648
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-（吉元信暁）	240 円	175 円		628
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み—（芹沢俊介）	350 円	125 円		1,471
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントへの視座—（富岡量秀）	300 円	165 円		1,582
17. サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編- （佐賀枝夏文）	250 円	140 円	1,500	164

(2) 新教材の発行

① 真宗保育ブックレットシリーズ 17 『サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編-』

著 者：佐賀枝 夏文

発 行 日：2019 年 11 月 1 日

発行部数：1,500 部

内 容：サガエさん（佐賀枝夏文先生）から「保育・子育て」に関する現場の保育士や保護者に向けたメッセージ

価 格：250 円

② 2020 年版『しんしゅうこどもかれんだー』

発 行 日：2019 年 9 月

発行部数：6,000 部

内 容：2018 年度報恩講園児絵画展への出品作品から選ばれた絵画を用いたカレンダー

価 格：270 円

【2020 年版『しんしゅうこどもかれんだー』制作にかかる会議】

しんしゅうこどもかれんだー色校正会議 期 日：2019 年 7 月 1 日(水)

【2021 年版『しんしゅうこどもかれんだー』制作にかかる会議】

しんしゅうこどもかれんだー掲載絵画選定会議 期 日：2019 年 11 月 25 日(月)

しんしゅうこどもかれんだートリミング会議 期 日：2020 年 3 月 19 日(木)

【出版部会】期 日：2020 年 2 月 7 日(金)

会 場：真宗大谷派宗務所

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深める取り組みを進めた。

また、第18回全国真宗保育研修大会で新しい研修テーマ「まなぶ」を発表し、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

研修を通して学び、保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努めた。

(1) 研究会・研修会事業

① 第18回全国真宗保育研修大会

期 間：2019年7月6日(土)～7日(日)

会 場：ホテル金沢・石川県音楽堂

基調公演：木越 康氏(大谷大学学長)

記念公演：鈴木みゆき氏(国立青少年振興機構 理事長)

西東 桂子氏(幼児教育ジャーナリスト/編集者)

分 科 会：保育現場のチームビルディングを考える

保育現場におけるこどもの「安全」を考える

幼少期の自然体験学習と健全な「そだち」を考える

幼児の造形活動を通して非認知能力の「そだち」を考える

危機管理と園内マネジメント(設置者・施設長向け)(協会本部)

② 第63回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2019年7月10日(水)

会 場：三木半旅館

対 象：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

③ 第63回仏教保育大学講座(真宗十派共催・浄土真宗本願寺派当番)

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とした。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めた。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2019年8月1日(木)～4日(日)

会 場：龍谷大学(大宮キャンパス)・三木半旅館

講 師：鍋島 直樹氏(龍谷大学文学部教授)

松井 乃里子氏(学校法人今小路学園くるみ幼稚園)

讃歌指導：萬田一樹(大阪教育大学講師/相愛大学講師)

参加人数：91名

③ 第63回仏教保育大学講座反省会

期 日：2019年10月10日（木）

会 場：浄土真宗本願寺派宗務所 伝道本部

④ 第64回仏教保育大学講座企画検討会議

期 日：2020年3月17日（火）

会 場：真宗大谷派宗務所

⑤ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点や仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義について学びを深めた。

対 象：1年目の保育者

期 間：2019年10月25日（金）～27日（日）

会 場：しんらん交流館・大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス

テ ー マ：まなぶ

講 師：富岡量秀氏（大谷大学教授）・朝倉益光氏（大谷保育協会理事長）
・高木淳善氏（真宗保育研究所員）

参加人数：19名

⑦ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、今年度は中止とした。

期 間：2020年6月5日（金）～7日（日）

会 場：真宗本廟（東本願寺）・同朋会館

⑧ カリキュラム研修会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、今年度は中止とした。

期 間：2020年5月16日（土）

会 場：山陽教務所（山陽支部との共催）

⑨ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させるよう検討を進めた。

⑩ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざした。

また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

【研修部会】期 日：2019年9月13日（金）、2019年12月27日（金）

会 場：真宗大谷派宗務所

Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行った。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めた。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指した。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を図った。

なお、保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組んだ。

【保育心理士認定者数】 一種：3,084名、二種：587名、賛助会員：1名

【保育心理士養成課程（一種）設置校】 同朋大学大学院

【保育心理士養成課程（二種）設置校】 九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、大谷大学、九州産業大学、仁愛女子短期大学・NPO法人「子どもと保育研究所 ぷろほ」

(1) 保育心理士資格取得講座

【本部主催分】

- ① 京都会場【会場：真宗教化センターしんらん交流館・真宗大谷派宗務所】
《第1～4・修了式日程》2019年8月21日（水）～25日（日）
※フォローアップ講座同時開催
- ② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】
《第1・2日程》2019年7月27日（土）～28日（日）
《第3日程》2019年10月5日（土）
《第4・修了式日程》2019年12月21日（土）～22日（日）
- ③ 東京会場【会場：親鸞仏教センター】
《第3・4日程》2019年9月28日（土）～29日（日）
《修了式日程》2019年11月23日（土）※フォローアップ講座同時開催
- ④ 名古屋会場【会場：同朋大学】
《第1日程》2019年7月13日（土） 《第2日程》2019年9月21日（土）
《第3日程》2019年10月26日（土） 《第4日程》2019年11月9日（土）
《修了式日程》2019年12月7日（土）※フォローアップ講座同時開催

(2) 保育心理士フォローアップ講座

保育心理士資格は5年間の有効資格であり、そのため資格更新のためにフォローアップ講座を開催した。

期 日：2019年8月25日（日）【会場：真宗大谷派宗務所】
2019年10月6日（日）【会場：九州大谷短期大学】
2019年11月23日（土）【会場：親鸞仏教センター】
2019年12月7日（土）【会場：同朋大学】

(3) 連区、支部研修会での資格取得講座の開催、フォローアップ講座の開催

「保育心理士資格取得講座」の全国展開のため、連区、支部より共催として行った。

【連区・支部研修会】

連区・支部	開催期日・期間	
	資格取得講座	フォローアップ講座
名古屋支部		2019/9/14, 2020/1/25
岡崎支部		2020/1/25
岐阜支部		2020/2/8
三条支部	2019/11/30	
高田支部		2019/12/14

【エリア】

エリア	開催期日・期間	
	資格取得講座	フォローアップ講座
札幌	2019/8/3-8/4, 9/8-29, 10/28	2019/10/19
仙台	2019/9/29, 10/6, 10/27, 11/10, 12/8, 12/15	2019/8/6-7
岐阜	2019/4/13, 5/11, 6/8, 7/27, 9/7, 11/9, 12/7	2019/6/22
愛知		2020/1/19, 2/16, 3/15
兵庫	2019/8/4, 9/8	
広島		2019/9/7
香川		2019/5/19, 6/22, 8/4, 9/7, 10/27, 11/16
大分		2019/7/2, 7/19, 9/10, 9/20, 11/20, 12/3
福岡	2019/6/22, 7/27, 8/24, 9/14, 11/16, 2020/1/18, 2/29	2019/5/18, 5/25, 6/15, 9/13, 10/25-27, 12/15 2020/2/2-4
長崎	2019/7/21, 11/10, 11/17 2020/1/23, 2/2	
熊本	2019/5/18-19, 6/1-2, 6/29-30	2019/6/2, 6/29
宮崎	2020/2/17-18	
鹿児島	2019/5/25-26, 8/17-18, 10/26-27, 2020/2/9	2019/8/23

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000 円		
二種会員	3,000 円		
賛助会員（個人・法人）	3,000 円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会内容精査会議】

期 日：2019年10月18日(金)

【保育心理士会集会】第12回保育心理研究会と併催

期 日：2020年1月12日(日)

会 場：大谷大学（慶聞館）

【保育心理士講師集会】

※今年度は開催なし

【保育心理士会幹事会】

期 日：2019年8月24日(土)、2020年1月11日(土)
2020年5月18日(月)

【エリアマネージャー会議】

期 日：2020年1月11日(土)

会 場：真宗大谷派宗務所

② 保育心理士（1種・2種）養成校との協議会

※今年度は開催なし

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷うべく、協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

(1) 機関誌等の配布

① 月刊誌「真宗保育」第 443～454 号を頒布した。

「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。

② 機関誌「ほいくしんり」（12 号）を発行した。

(2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

協会ウェブサイトのシステム不具合により、専門業者を交えての暫定的な変更を行った。システムの変更に併せて、スマートフォン対応を可能とした。今後、ウェブサイトにある各コンテンツの見直し、刷新を行いながら、情報発信を続けていく。

また、リアルタイムで情報更新を行い、各支部や加盟園の活動報告を掲載するなど協会全体で情報を共有できるようシステムを構築する。

(3) 園児絵画展

加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて、京都駅公益地下ストリートギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただいた。

期 間：2019 年 11 月 14 日（木）～11 月 28 日（木）

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、
および京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

(4) “こどものうた” 事業

研修テーマを題材として、日々の保育の中で子どもたちが口ずさみ、歌い継がれていくような願いのもと、2013 年度より 1 期 2 年間、5 期 10 年継続の計画として展開され、第 2 期までは一般公募により（各期 3 曲）制作事業を進めてきた。

第 3 期からは制作体系を見直し、作詞・作曲を一般公募から直接制作委託する形を採り、曲数も 1 曲とし、これまでの CD 制作からインターネット楽曲配信ストアを用いてその普及に努めた。しかしながら、楽曲配信後の利用者が極めて少ないことから、各園ではもとより、リニューアルされた協会ホームページや各種研修会等で活用いただけるよう、その周知に努めていきたい。

(5) 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。(現在、8ヶ園の加盟園が参加している)

【広報部会】期 日：2019年11月12日（火）、2020年2月7日（金）

会 場：真宗大谷派宗務所

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努めた。全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を図った。

(1) 人材発掘のための取り組み

- ① 設置者・園長等研修会での周知
設置者・園長に加え、後継者も参加する設置者・園長等研修会において、協会の活動内容等について周知すべく情報交換を行った。
- ② 人材登録制度の設置・継続
各部の事業内容により協会各支部に引き続き依頼した。

(2) 設置者・園長等研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、各加盟園の設置者や園長自身が『カリキュラム』の内容を伝達し「語れる人」となるように育成することを目的として開催した。

対 象：理事・園長・設置者・後継者

期 間：2020年1月30日(木)～31日(金)

テ ー マ：まなぶ

講 師：富岡量秀氏(大谷大学教授)・玉田玉秀斎氏(講談師)

会 場：難波別院内同朋会館講堂
大阪エクセルホテル東急

参加人数：52名

(3) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

(4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

(5) 「青少年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

期 日：2019年5月16日(木)

2020年2月20日(木)

(6) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

(7) 「加盟園就職支援ポスター」の発行及び求人情報について

幼児教諭や保育士を目指す宗派養成校の学生に向け、協会の加盟園周知他、就職先の選択肢の一つになることを願い、加盟園就職支援ポスターを宗派養成校に掲示を依頼した。

(8) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送った。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。（各支部長経由）

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEB中心に適時公開した。

(1) 管理業務の遂行

物品販売作業の軽減（特に請求書・領収書発行作業、在庫管理）を図るため、販売管理システムの活用を図った。

(2) 協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。また、協会のICTインフラの維持運営を行った。また、協会保有データの保全と機密性を維持するとともに適時改善した。

(3) 採用情報提供システムの施行

保育士、幼稚園教諭等施設職員不足に対応するために、当協会の全国組織の特徴を生かし、Uターン就職及び真宗保育を望む学生に採用情報を提供する仕組みを試行した。

(4) 協会をPRするパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広くPRするため、「公益社団法人大谷保育協会要覧（仮称）」（パンフレット）の作成を行うべく検討を進めた。

(5) 加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行った。

- ・加盟園名簿の確認作業実施 /期 日：2019年8月19日（月）

(6) 常務理事会に関する事項

期 日：2019年7月23日（火）、10月7日（月）、12月26日（木）
2020年4月22日（水）

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第18回（事業報告・決算承認）

期 日：2019年8月27日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第19回（臨時：常務理事選出）

期 日：2019年9月12日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第20回（次年度予算・事業計画）

※理事会の決議の省略の方法による開催

② 第8回総会

期 日：2019年9月12日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

(8) 諸会議に関する事項

①正副部所長会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、今年度は中止とした。

期 日：2020年4月16日（木）